

『地域高規格道路 宮古盛岡横断道路』の整備について

東日本大震災津波からの復興を目指して

東日本大震災津波の被害の状況 (平成23年7月25日現在)

被害の区分		被害
人的被害	死者数	4,611人
	行方不明者数	2,081人
計		6,878人
家屋被害	全・半壊	24,534棟
	一部損壊	5,010棟
計		29,544棟
公共土木施設被害	河川・海岸・道路等施設被害	1,723億円
	都市・公園施設被害	405億円
	港湾関係施設被害	445億円
計		2,573億円

復興に向けて

岩手県東日本大震災津波復興計画

計画の期間・構成

計画の期間	平成23年度 ~ 平成30年度(8年間)	
計画の構成	復興基本計画	復興に向けての「目指す姿」や原則、具体的取組等を明らかにするもの
	復興実施計画	復興のために行う施策、事業、工程表等を明らかにするもの

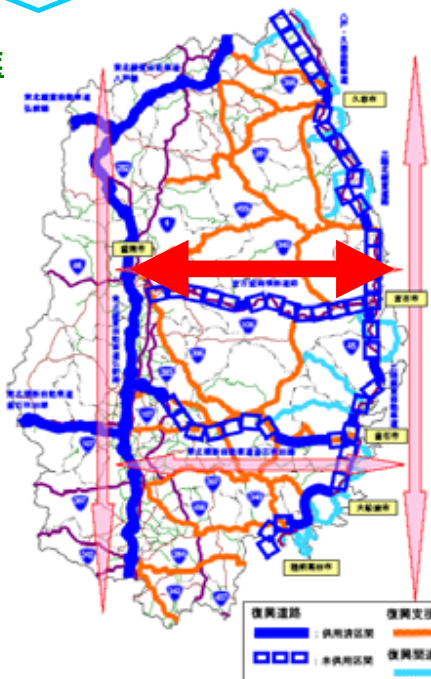
道路分野では

三陸復興道路整備事業

災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築。

復興道路

- 【縦貫軸】三陸縦貫自動車道
三陸北縦貫道路
八戸・久慈自動車道
- 【横断軸】東北横断自動車道
釜石秋田線
宮古盛岡横断道路



『宮古盛岡横断道路』の概要

路線概要

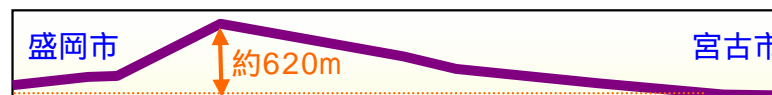
起終点：岩手県宮古市～盛岡市 延長：約100km
路線指定：平成6年12月16日

計画(km)	供用		供用・事業中	
	延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)
100.0	1.4	1.4%	18.0	18.0%

路線の特徴

地形の特徴

盛岡側 急勾配、宮古側 緩勾配



現道の課題

- ・長い走行時間(約110分)
- ・49箇所もの急カーブ(R<150m)

利用者の負担大

- ・過去10年間に 17回112時間の全面通行止め
- ・防災点検要対策箇所 29箇所
- ・要耐震橋梁 4橋
- ・要修繕橋梁 29箇所
- ・土砂災害危険箇所 121箇所

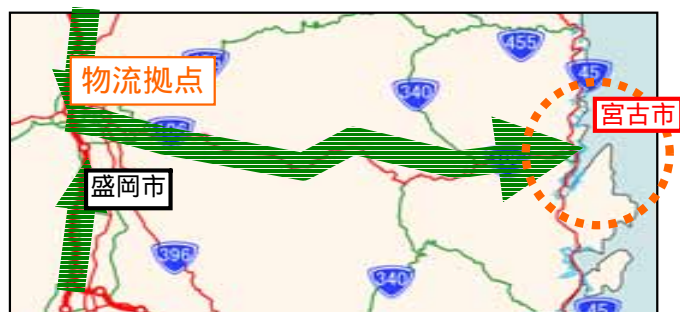
信頼性に不安

路線の重要性

被災地(宮古方面)への唯一の道路!!

内陸部からの救援・支援

『宮古盛岡横断道路』しか対応できず!



『宮古盛岡横断道路』の整備に向けて

これまでの調査経緯

- ・現状の課題把握
- ・整備優先順位の検討
- ・整備方針の検討
- ・優先順位が高い区間の航測図化及び概略設計
区界地区、茂市地区、平津戸地区を先行して調査

整備に向けての課題

- ・短期間に長大トンネル、橋梁などの重点的整備が必要
- ・多大な事業費と高度な技術力を要す

『宮古盛岡横断道路』

10工区の整備により

宮古～盛岡間 約15分の時間短縮!
線形不良区間の解消!

内陸～沿岸被災地の連携が促進

国の全面的支援
による整備を!

平成23年度第3次補正
での予算措置を!